案内・募集

第 13 回 日本旅行医学会大会

日時：4 月 19 日(土)・20 日(日)
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
テーマ：感染症の旅行医学 PART1 ―ワクチンと危機管理
プログラム：
4 月 19 日：「ミャンマー最新医療事情」白井拓史(ホーチミン・ロータスクリニック院長)／「フィンランド最新医療事情」石井圭亮(大分大学医学部附属病院救命救急センター診療教授)／大会長講演「SARS ／新型インフルエンザと感染症危機管理」佐藤武幸(千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部部長)／ランチョンセミナー「肝炎」横須賀収(千葉大学大学院医学研究院研究院長・医学部長，消化器・腎臓内科学教授)／旅行医学のトピックス 1「蚊が媒介する感染症：マラリア・黄熱・デング熱等(仮)」加藤康幸(国立国際医療研究センター病院国際感染症センター医長)・「子どものワクチン接種の実際―良いスケジュールと正しい接種法」薗部友良(「VPD を知って，子どもを守ろうの会」理事長)／旅行医学のトピックス 2「2009 年パンデミックインフルエンザ H1N1 からの教訓(仮)」安田英典(城西大学理学部数学科教授)・「狂犬病と中東呼吸器症候群(仮)」井上智(国立感染症研究所獣医科学部室長)／懇親会
4 月 20 日：特別講演「東南アジアのパンデミックインフルエンザおよび危機管理の現状と対策」鈴木和男(帝京大学アジア国際感染症制御研究所所長)／海外招待講演「HIV，プリオン，その他総説」アン・マリー・キンボール(ワシントン大学教授)／旅行医学のトピックス 3「旅行医学の基礎知識と最新情報」篠塚規(日本旅行医学会専務理事)／特別海外招待講演「エビデンスベーストの旅行医学に向けて」ジル・ポメール(WHO 旅行医学部門主任)／ランチョンセミナー「膝関節軟骨の細胞治療法」水野秀一(ハーバード大学整形外科医)／旅行医学のトピックス 4「変化する家族と国籍」石井隆(法務省民事局民事第一課課長)／市民公開講座「原発と将来世代」小出裕章(京都大学原子炉実験所助教)
参加費：医師 1 万 2000 円，その他 6000 円(2 日間，懇親会費含む)
【ポスター発表募集】
締切：3 月 31 日(月)
詳 細：http://www.jstm.gr.jp/13th_seminar_poster_entry.html 参照
問い合わせ：事務局
〒 151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-19-12　津田ビル 302
TEL：03-5411-2144
FAX：03-3403-5861
http://www.jstm.gr.jp/13th_seminar.html

募集

札幌市立大学認定看護管理者教育課程 サードレベル受講者募集

募集期間：5 月 1 日(木)～ 20 日(火)必着
面接日：6 月 26 日(木)・27 日(金)のいずれか
開催期間：(全 38 日間)
〈第Ⅰ期〉8 月 25 日(月)～ 9 月 9 日(火)12 日間
〈第Ⅱ期〉11 月 4 日(火)～ 11 月 21 日(金)14 日間
〈第Ⅲ期〉2015 年 1 月 6 日(火)～ 1 月 22 日(木)(12 日間)
募集定員：30 名
開催場所：札幌市立大学桑園キャンパス
受講費用：選考手数料 1 万円，受講料 20 万円
募集要項・提出書類：ホームページよりダウンロード
教育理念：多様なヘルスケアニーズを持つ個人，家族および地域住民に対して，質の高い組織的看護サービスを提供することをめざし，一定の基準にもとづいた看護管理者を育成する体制を整え，看護管理者の資質と看護の水準の維持および向上に寄与することにより，保健医療福祉に貢献することを目的とする。
教育目的：①社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために看護の理念を掲げ，それを具現化するために必要な組織を構築し，運営していくことのできる能力を高める。②看護事業を起業し運営するにあたって必要となる経営管理に関する知識・技術・態度を修得する。
教育の目標：①保健医療福祉の政策動向を理解し，保健医療福祉行政の最新情報を得て，それらが看護管理上に与える影響を考察し，適切な対応策を思考・立案する。②看護現場の現状を分析・データ化し，社会貢献としての看護を見いだし，職能団体，行政機関等へ提示できる能力を養う。③社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし，目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を学習する。④経営者あるいはその一員として経営管理の視点に立った医療の質向上のための事業を立案・実施できる能力を養う。⑤トップマネジャーが備えるべき要件について学ぶ。
問い合わせ：札幌市立大学事務局　桑園担当課　教務係
〒 060-0011　札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
TEL：011-726-2500
FAX：011-726-2506
E-mail：cna@scu.ac.jp
http://www.scu.ac.jp/

案内

第 5 回ナイチンゲール KOMI ケア学会

日時：6 月 7 日(土)・8 日(日)
会場：名古屋今池ガスホール(愛知県名古屋市)
テーマ：人々に第一級のケアを届けよう
プログラム：
6 月 7 日：特別講演「ナイチンゲールの看護思想―『看護覚え書』より」小南吉彦(ナイチンゲール看護研究所)／一般講演 A 会場「介護保険関連施設におけるケア」・B 会場「地域ケア・在宅ケア」・C 会場「病院看護(急性期・慢性期等)」
6 月 8 日：Ⅰ. 第一級のケアを基礎からとらえ直す(1)「ナイチンゲール看護師訓練学校における初期の教育課程」金井一薫(東京有明医療大学)・(2)「日本の初期看護教育①京都におけるリンダ・リチャーズが実践した看護教育」岡山寧子(京都府立医科大学大学院)・(3)「日本の初期看護教育②明治期における慈恵の看護教育」芳賀佐和子(元慈恵医科大学看護学科)・(4)日本の現代看護教育(基礎教育)―KOMI ケア理論を全学の教育に活用して」青木智子(四日市医師会看護専門学校)／Ⅱ. 第一級のケアの拡大を目指して

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2014

2026/10/15 08:02:05

(1)「KOMI ケアを卒後教育に取り入れるのには」森弓子(済生会富田林病院)・(2)「主体的な学習の実現に向けた教育課題への挑戦」吉田文子(佐久大学看護学部)／Ⅲ. 第一級のケアをコミュニティに創る (1)「“初期集中支援”を通してこれからの地域ケアのあり方を探る」片山智子(桜新町アーバンクリニック在宅医療部)・(2)「大卒介護福祉士のキャリアアップの道を創る―専門職大学院構想による看護師への道」金井一薫

参加費：(当日)会員1万3000円，非会員1万5000円

申し込み：専用申込書またはホームページより

問い合わせ：事務局

E-mail：komihonb@asas.or.jp

http://komi.or.jp/gakkai-annai.html

案内

第27回日本老年泌尿器科学会学術集会

日時：6月13日(金)・14日(土)

会場：山形テルサ(山形県山形市)

テーマ：安心で温かな「老年泌尿器ケア」の進歩のために

プログラム：基調講演1「老年泌尿器科学の成り立ちと展望」本間之夫(東京大学大学院医学系研究科泌尿器外科学分野)・2「排泄ケアの技術(アート)論」川嶋みどり(日本赤十字看護大学，健和会臨床看護学研究所)／海外招聘講演「カテーテル管理とケアの技術革新」Diana D. Cardenas(マイアミ大学医学部)・Katherine N. Moore(アルバータ大学看護学部)／特別講演「医療保険・介護保険のこれから」村上正泰(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座)／シンポジウム1「下部尿路症状ケアの洗練と教育」谷口珠実(山梨大学大学院医学工学総合研究部，健康・生活支援看護学講座)・鈴木康之(東京都リハビリテーション病院)・2「在宅医療と高齢者がん医療」冨田善彦(山形大学医学部腎泌尿器外科学講座)，大園誠一郎(浜松医科大学医学部泌尿器科学講座)・3「高齢者排泄ケアシステムの整備に向けて」後藤百万(名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学)，鈴木基文(東京大学大学院医学系研究科泌尿器外科学分野)／「骨盤底筋体操実技指導」「おむつ学実践講座」(計画中)

参加費：会員5000円(当日受付)，懇親会無料

【第10回排尿機能検査技師講習会】

日時：6月14日(土)15：00～18：00(予定)

詳細：ホームページ参照

問い合わせ：日本コンベンションサービス　東北支社内

TEL：022-722-1311

FAX：022-722-1178

http://jsgu2014.umin.jp

案内

日本老年看護学会第19回学術集会

日時：6月28日(土)・29日(月)

会場：愛知県産業労働センター　ウインクあいち(愛知県名古屋市)

テーマ：高齢者が主体的に生きることを支える老年看護学の探求

プログラム：会長講演「高齢者が主体的に生きることを支える老年看護学の探求」百瀬由美子(愛知県立大学)／特別講演「高齢者と家族の意思決定を支える―最期まで自分らしく生きるために」清水哲郎(東京大学大学院)／海外招聘講演「Mental health care for caregivers of older people with dementia」Theresa A. Havath／教育講演1「科学的視点に基づく介護予防―高齢者の生活機能の維持と向上を目的として」鈴木隆雄(国立長寿医療研究センター)／教育講演2「認知症高齢者の持てる力を引き出す看護」鈴木みずえ(浜松医科大学)／シンポジウム「高齢者の意思を尊重した地域包括ケア(仮)」／ワークショップ「高齢者うつ病のケアを考える―身体疾患，認知症との関連から」(身体疾患患者へのメンタルケアモデル開発ナショナルプロジェクト)／その他

申し込み：事前登録(～5/15)はホームページより，または当日受付

参加費：

(～5/15)会員9000円，非会員1万1000円

(当日)会員1万円，非会員1万1000円

学生6000円(大学院生を除く)

問い合わせ：事務局

〒461-0004　名古屋市東区葵3-12-7

(株)オフィステイクワン

TEL：052-930-6145

FAX：052-930-6146

E-mail：rounenkango19@cs-oto.com

http://www.cs-oto.com/rounenkango19/

案内

日本小児看護学会第24回学術集会

日時：7月20日(日)・21日(月祝)

会場：タワーホール船堀(東京都江戸川区)

テーマ：とどけよう！　小児看護の知と技とこころ―培ってきたものをすべての子どもと仲間に

プログラム：会長講演「確かにとどける小児看護の知と技とこころ」日沼千尋(東京女子医科大学看護学部)／特別講演「子どもと看護師が元気になるカゲキの檄(げき)文」志茂田景樹(直木賞受賞作家，「よい子に読み聞かせ隊」隊長)／教育講演「看護が子育てに出会うとき」大日向雅美(恵泉女学園大学大学院平和学研究科教授)／シンポジウム「キラッと光る知と技とこころの看護実践」小児看護の倫理的課題／子どもへの災害支援／プリパレーション後の子どもの反応／診療報酬に関して／慢性疾患のある子どもへの療養支援／家族とのコミュニケーション能力向上の教育／小児看護管理／小児在宅看護／子どもの急変対応／心臓カテーテル検査・治療を受ける子どもの安全・安楽／小児看護OSCE等／一般演題：口演・示説

参加申し込み締め切り：5月8日(木)

※学術集会Webサイトより申し込み

参加費：

(～5/8)会員1万円，非会員1万1000円

(当日)会員1万2000円，非会員1万3000円

学生：事前・当日ともに3000円(大学院生，認定看護師教育課程研修生を除く)

懇親会7000円別途

問い合わせ：

〈学術的な問い合わせ〉

〒162-8666　東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学看護学部小児看護学

E-mail：jschn24.bk@twmu.ac.jp

〈演題登録・事前参加・学会運営に関する問い合わせ〉

2026/10/15 08:02:05

〒101−0064　東京都千代田区猿楽町 1−5−18　千代田ビル　(株)ICS コンベンションデザイン
TEL：03−3219−3531
FAX：03−3219−3577
E−mail：jschn24@ics-inc.co.jp
http://www.jschn24.com/index.html

案内

日本地域看護学会 第 17 回学術集会

日時：8 月 2 日(土)・3 日(日)
会場：岡山コンベンションセンター(岡山県岡山市)
テーマ：継承と変革―地域看護のアクションリサーチ
プログラム：特別講演「地域に根ざす相互扶助のアクション―岡山のプライマリケア推進と 30 年の国際緊急人道援助の軌跡」菅波茂(特定非営利活動法人アムダ理事長)／公開シンポジウム「愛育委員会活動の継承と変革―愛育村指定・保健師の宿泊訪問から時代と歩んだ 60 年」大場エミ(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育推進部部長)ほか／教育講演 1「アクションリサーチの成果を地域貢献へ―阪神淡路大震災が生んだクロスロード」矢守克也(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)・2「地域看護の専門性を高める省察的実践」田村由美(滋慶医療科学大学院大学教授)・3「専門性の『継承』―地域看護・在宅看護への示唆」木村哲也(歴史民俗研究者)／会長講演，ワークショップ，ランチョンセミナー，懇親会ほか
事前参加締切：6 月 30 日(月)
参加費：
(〜 6/30) 会員 9000 円，非会員 1 万円，学生(大学院生を除く) 2000 円
(当日) 会員 1 万円，非会員 1 万 1000 円，学生(大学院生を除く) 3000 円
懇親会(〜 6/30) 7000 円(当日) 8000 円
問い合わせ：事務局
〒700−8558　岡山市北区鹿田町 2−5−1　岡山大学大学院保健学研究科　岡本玲子研究室
E−mail：phn@md.okayama-u.ac.jp
http://www.convention-w.jp/17jachn/

案内

日本看護教育学学会 第 24 回学術集会

日時：8 月 18 日(月) 10：00 〜 16：40
会場：前橋テルサホール(群馬県前橋市)
プログラム：基調講演「少数者としての職業経験―個性輝く職業活動の展開に向けて」松田安弘(群馬県立県民健康科学大学)／演題発表および研究批評／シンポジウム「大学院進学による学習成果と実践への適用―その現状と課題」富永明子(群馬県立県民健康科学大学)，小池洋子(関越中央病院)，長岡波子(国立がん研究センター中央病院)，神田尚子〔テルモ(株)〕／懇親会
参加費：7000 円，懇親会 5000 円
申し込み：ホームページ経由，または専用申込みフォームの郵送〔7 月 22 日(火)締切〕
問い合わせ：事務局
〒371−0052　前橋市上沖町 323−1　群馬県立県民健康科学大学
TEL：080−4198−8815 または 090−6025−0352
E−mail：jasne_24@yahoo.co.jp
http://jasne.umin.jp/

演題募集

第 25 回日本小児外科 QOL 研究会

日時：10 月 18 日(土)
会場：杏林大学医学部大学院講堂(東京都三鷹市)
テーマ：チームで支える QOL ― QOL の未来に向けて
要望演題：① NICU 患児の QOL，②腸瘻患児の QOL，③泌尿生殖器術後患児の QOL，④在宅医療の QOL，そのほか小児外科 QOL に関する演題も幅広く募集
募集期間：7 月 1 日(火)〜 31 日(木)
詳細はホームページ参照
問い合わせ：事務局
〒181−8611　東京都三鷹市新川 6−20−2　杏林大学小児外科　渡邉佳子
TEL：0422−47−5511
FAX：0422−44−0265
E−mail：pedsurgqol25@procomu.jp
http://www.procomu.jp/pedsurgqol2014/

2026/10/15 08:02:05